

令和7年度 瑞浪市社会教育委員会の調査研究テーマについて

【研究テーマ】※令和6年度から継続

「ふるさとに誇りがもてる世代間の交流促進について」

I テーマ設定の背景

○令和6・7年度 瑞浪市 社会教育・生涯学習の方針と重点

基本目標 ともに学び支え合う社会教育の推進

・ 仲間とつながりながら学ぶ・地域のつながりの中で体験的に学ぶこと

施策3 シニア世代の活躍の場づくり

・ 地域のシニア世代と子どもの交流の促進

(1)保幼小中、PTA、子ども会等と連携を図り、地域のシニア世代と子どもとの交流を図る。

○社会教育 生涯スポーツ 文化・芸術・文化財 振興基本計画 令和6年3月 瑞浪市教育委員会

基本目標 ともに学び支え合う社会教育の推進

施策1 多世代の多様なニーズに対応した生涯学習の機の提供

施策3 シニア世代の活躍の場づくり)

・ シニア世代の活発な活動の推進 ・ 地域のシニア世代と子どもとの交流の促進

○令和6・7年度 東濃地区生涯学習・社会教育推進の方針と重点

方針 ふるさとに誇りをもち、よりよい未来に挑み続ける人の育成

○第4次岐阜県教育振興基本計画[2024～2028年度]

岐阜県教育を通して「目指す人間像」

「『ふるさと岐阜』で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人」

重点的な施策② 「ふるさと岐阜」での活動を通して学ぶふるさと教育の推進

身近で多様な人々の生き方などに触れたり、温かな支えを受けたりする経験はふるさとの良さを感じ取る～探究的な学びのふるさと教育を推進する～

○瑞浪市の地域学校協働活動の推進について（令和6年2月 瑞浪市教育委員会）

はじめに ～人と人とのつながりの希薄化～人と関わり「ありがとう」と言われる「喜び」～
～大人たち、人と人、自然と、産業となど「多様なつながりがあることを再発見し～
アンケート結果から見えてきた成果と課題

⑦後継者育成の進め方について 非常に難しい問題 人材を発掘する必要がある

⑨やりがいを感じるときについて 「子どもの笑顔をたくさん見ることができるようになった時」「一緒に活動し、関りを深めることができるようになった時」の回答が約87%ある。

2 より多くの地域の人と繋がる方法について

(3)いろいろな地域団体や様々な年代の地域住民が参画できるようにする。